

2013年4月22日

プロジェクト報告書

【締切:プロジェクト終了後1か月以内。もしくは 2013年4月30日】

団体名 楽農倶楽部

▼報告書の扱い、および記入にあたっての注意点

この報告書(精算報告書以外)は、ホームページなどで公開する予定ですので、広く読まれることを想定してご記入ください。また、編集段階で、表記・表現等を事務局で編集する場合がありますので、あらかじめご了承ください。語尾の表現は「です・ます」調をお願いします。報告書に掲載するため活動の内容がよくわかる写真(2枚程度。写真の肖像権問題がないものの提出をお願いします)を添付して下さい。

1. プロジェクト名

多摩の団地住民による野菜・苗づくり事業

2. プロジェクトの目的とその背景 300文字まで

※応募申請書に記載のもので可。

野菜づくりをとおして、地域活動や近隣小中学校へ参画し、地域コミュニティの拡大を図るとともに、地域風土形成とその伝承が息づくまちづくりを進めました。その事業は、以下のとおりであります。

教育事業(ESD):地区小中6校で、緑のカーテンpj並びにESD教育に参画。

環境事業:多摩市と連携し、生ゴミリサイクルサポーターとして、地区講演や生ゴミ及び落ち葉の堆肥化活動を実施。

以上の活動から「新しい公共と故郷づくり」システムの構築を始動しました。

3. プロジェクトの内容 300文字まで

※当初予定と変更がない場合は、応募申請書に記載のもので可。

1 季節の野菜づくりは、育苗から行いました。

2 5箇所の市場を確保し野菜販売を行い近隣の奥さん方に好評を得ています。

3 緑のカーテンpj2012 小学校4校、中学校2校の支援授業を実施しました。多摩市教育委員会連携事業

4 西落合小学校放課後囲碁教室の開設

多摩市児童青少年課

5 落合中学校の給食残菜の資源化

多摩市落合中学校連携

6 青少年問題協議会への参画 副会長就任

7 ESD 市民会議へ参画

多摩市教育委員会連携事業

4. プロジェクト実施にあたっての工夫点とその効果 300文字まで

野菜作りと販売をとおした地域連携や小中学校への支援授業から、野菜名人のおじさん・囲碁の先生と呼ばれこどもたちやその父兄、おばさんから「今日は！」と声をかけられる機会が多くなりました。

その結果、将来を担うこどもたちに小さな種を蒔くことができ、将来その芽が大きく成長するものと期待します。

5. 全体的所感、終了しての感想など 300文字まで

多摩市は、東京オリンピックを境に大きく姿を変え、農村からベッドタウンへ、供給地から消費地へと変貌してしまいました。命を育む大地が失われ、そこに生まれ成長する子供たちは、自然から学ぶ機会が奪われてしまい、より安心・安全な社会が求められる今、野菜づくりを通して命の大切さ・命の支え合い、成長と自立のまちづくりを目指し、地域や教育委員会・小中学校と連携して次世代の人づくりに一步一步進んでまいります。

6. 参考資料

支援対象プロジェクトで作成したチラシ、パンフレットやマスコミで紹介された記事等は現物またはコピー、活動風景の写真を参考資料として提供してください。

参考資料あり・特になし